

## 令和 3 年度 学校経営計画表

## 1 学校の現況

学校番号	47	学校名	県立土浦第三高等学校						課程	全日制		学校長名	海老沼 正				
教頭名	木村 隆												事務長名	柳澤松雄			
教職員数	教諭	49	養護教諭	1	常勤講師	3	非常勤講師	0	実習教諭・実習助手	3	事務職員	3	技術職員	3	計	65	
生徒数	小学科	1年		2年		3年		4年		合計		合計クラス数					
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女						
	普通科	55	65	68	51	57	60			180	176	9 クラス					
	商業に関する学科	60	60							60	60	3 クラス					
	商業科			13	26	20	19			33	45	2 クラス					
	会計ビジネス科			19	21	11	29			30	50	2 クラス					
情報処理科			15	25	23	15			38	40	2 クラス						

## 2 目指す学校像

生徒一人ひとりの個性や能力の伸長を図ると共に、「生きる力」や「豊かな心」を育み、社会に貢献できる人材を育成する学校。
--

## 3 現状分析と課題

項目	現状分析	課題
学習指導	相応の基礎学力と理解力を備えているが、潜在的な能力を十分発揮できずにいる生徒も少なくない。この背景として、学習への取組姿勢や向上心に関する個人差、学業と部活動との両立を図ることに課題を抱えた生徒等の家庭学習の未定着などが考えられる。	生徒一人ひとりに対する自ら学ぶ意欲や態度を育成する指導法を工夫すると共に、家庭学習を習慣化を図るための手立てを講じていく必要がある。
進路指導	進路選択を主体的に進めていくために必要な自己理解の不足が見られる。希望する進路の実現に向け、3年間を見通した進路指導が重要である。また、教育課程が学科ごとに異なることから、進路希望別や学科別等個別的に指導を展開していく必要があり、教職員に負担が生じている。	様々な機会を通して自己理解の深化を図ると共に、多様な進路希望に対応するための学力向上及び課外等への組織的取組を進めていく必要がある。
生徒指導	生徒には、自発的に挨拶したり周囲への気配りなどが日常的に行われる雰囲気が醸成されている。服装・髪等の指導を定期的実施することなどにより、ルールを遵守する意識が定着しており、問題行動や特別指導は少ない。保護者の理解と協力が得られており、家庭と連携して生徒への指導がなされている。	校外での生活や交通安全などに対する規範、SNS等に起因する問題などに関する意識の高揚を継続していくことが求められる。
特別活動	文化祭や野球応援などの学校行事、ホームルーム活動などが積極的かつ主体的に実施されている。生徒会誌の発行やマナーアップ運動など、生徒会活動も積極的に行われている。また、部活動においても活発に活動が展開され、多くの部で関東大会および全国大会出場等の実績を残している。これらはキャリアパスポートを活用することで、自己の変容や成長を記録し、自己評価につなげている。	各種委員会活動の活性化や部活動の実績を引き続き維持し、一層の向上を図っていく必要がある。また、キャリアパスポートを活用し、中長期的な振り返りと将来への見通しに役立てる必要がある。
健康・安全	生徒の約6割が自転車通学であることから、登下校時の交通安全や不審者対応等が不可欠であり、交通安全指導などを進めると同時に、所轄の警察署との連携を図っている。また、心に課題を抱えていたり、特別な支援を必要とする生徒もいるため、その対応が求められている。	地域の関係機関と連携し、生徒の安全確保に努めていく必要がある。また、個に応じた支援のあり方について、SC等との連携を深めると共に、教職員研修などを進めていく必要がある。
施設・設備	施設については、体育館等の外部改修工事など概ね完了した。継続的に校内の危険個所の修繕・管理に努めている。設備については、GIGAスクール構想によるWi-Fiや電子黒板がすべての普通教室導入された。生徒はBYODにより、タブレットやスマートフォン等での利活用が可能となっている。	最新施設の積極的な有効活用を進めると共に、探究活動等に資するICTの効果的な利活用を進めていく必要がある。
広報活動	部活動や進路関係、新校舎や施設・設備、専門学科の学習内容を含む教育内容等について、地域の中学校等へ積極的にPRを行うと共に、ホームページを活用した最新情報の提供に努めている。また、生徒が自主的に募金活動など行うなど、社会に貢献していく諸活動を行っている。	最新情報をホームページに掲載できるように、組織を改善していく必要がある。また、地域社会からの信頼をさらに厚くするための取組の充実が求められる。
働き方改革	勤務時間の把握や定時退勤日の設定などを実施しているが、校務分掌業務、課外指導、部活動指導などから、勤務時間外在校時間が長い職員も少なくない。	業務内容の見直しによる業務量の軽量化、校務分掌の平滑化、課外指導等の計画的な実施等、新しい体制の確立等を進めていく必要がある。

#### 4 中期的目標

<p>1 確かな学力の育成を図り、自らの力で未来を切り拓く知性や教養など、活用できる能力を養う。</p> <p>2 文武両道を推進すると共に、様々な体験や学習活動を通し、心身ともに健全で豊かな人間性を養う。</p> <p>3 キャリア教育を充実し、望ましい職業観や勤労観、社会性を養い、将来の夢や希望の実現を目指す。</p> <p>4 普通科と商業関係学科の併設校として、地域の期待に応え信頼される学校を目指す。</p> <p>5 働き方改革を推進し、心身ともに健康的で働きやすい職場環境の構築を目指す。</p>
--

#### 5 本年度の重点目標

重点項目	重点目標
<p>確かな学力の育成を図り、自らの力で未来を切り拓く知性や教養など、活用できる能力を養う。</p>	<p>① 確かな学力の定着を図り、国公立大学や難関私立大学への進学実績をさらに伸ばす。</p> <p>② 学習意欲の高揚に努め、自発的な学習の習慣化や家庭学習の確立を図る。</p> <p>③ 個別面談及び保護者面談を充実し、個々の学校生活の目的や進路希望を明確にすることで、自己実現に向けて主体的に取り組む態度を育成する。</p> <p>④ 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に努める。</p> <p>⑤ 希望する進路の実現に向けた課外活動の充実を図る。</p> <p>⑥ 生徒個々の興味や関心、適性等に応じた進級時の適切なコースないし学科の選択を実施する。</p> <p>⑦ 商業関係学科においては、専門科目の学習内容の充実を図り、資格取得の実績向上と進路の実現を目指す。</p>
<p>文武両道を推進すると共に、様々な体験や学習活動を通し、心身ともに健全で豊かな人間性を養う。</p>	<p>① 特別活動等の充実を図り、活力ある学校生活の創造に努めると共に、調和のとれた生徒を育成する。</p> <p>② 生徒の規範意識を確立し、本校生としての自覚とマナーを心得た生徒を育成する。</p> <p>③ 道徳教育を推進し、人間としての生き方やあり方に関する指導の充実により、豊かな人間性・社会性を身に付けさせる。</p> <p>④ 生徒会活動や各種委員会活動の活性化を図ると共に、様々な学校行事を通じて生徒の学校生活の充実を図る。</p> <p>⑤ 校外活動やボランティア活動への積極的参加を推進し、社会において必要な実践力を育成する。</p> <p>⑥ 文武両道を推進し、知育、徳育、体育のバランスのとれた学校運営を実践する。</p>
<p>キャリア教育を充実し、望ましい職業観や勤労観、社会性を養い、将来の夢や希望の実現を目指す。</p>	<p>① 生徒個々の自己理解と職業に対する意識の高揚を図り、希望や適性に応じた進路実現のための的確な支援を行う。</p> <p>② 生徒の主体的な進路選択及び希望する進路の実現を支援するため、進路相談・学習相談・就業体験の充実を図る。</p> <p>③ 就職試験や面接試験対策等の充実を図り、具体的かつ実践的な能力の向上を図る。</p> <p>④ 適切な進路指導を進めていくため、本校の現状分析や教員の研修の機会を充実させる。</p> <p>⑤ 探究的な学習を通して課題発見・解決能力の育成を図り、変化の激しいこれからの社会を生き抜く力を育成する。</p>
<p>普通科と商業関係学科の併設校として、地域の期待に応え信頼される学校を目指す。</p>	<p>① 各学科それぞれの目標の実現に向けた授業内容の充実を図り、関係機関との連携にも努める。</p> <p>② 学校のさらなる発展に向け、保護者、学校評議員、地域住民等からの情報や意見を聴取して学校運営に資すると共に、地域の関係機関との連携を強化する。</p> <p>③ 中学校への訪問を実施し、本校の理解の促進を図る。</p> <p>④ 保護者や地域住民との情報交換を積極的に行い、相互の理解と協力体制の確立を図る。</p>
<p>働き方改革を推進し、心身ともに健康的で働きやすい職場環境の構築を目指す。</p>	<p>① 業務内容の見直しと業務量の軽量化を図り、勤務時間外在校時間の短縮を図る。</p> <p>② 休暇を取得しやすい職場環境の醸成に努める。</p> <p>③ 保護者や地域住民へ積極的に情報を公開し、現状の理解と協力体制の構築を図る。</p>